

しゃらくかい 写楽同会

令和3年6月30日 66

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2021 Sharakukai

水無月兼題「船・舟」出題：準坊

写真俳句



1 川下り終えて暑さの中に入り

季語：暑さ（夏）

船で涼を楽しむも降りると夏の暑さが戻ります。



2 殺戮の始めは刃研ぎ捕鯨船

季語：捕鯨船（冬）

写真は夏で季語は冬。アイスランドにて。



3 レガッタを頭に担ぎムカデ足

季語：ムカデ（夏）

すごく長いレガッタは多分重いのでしょうか。
頭を入れて運ぶ陸の動きが愉快。



4 人は居ぬ船は静かに休む初夏

季語：初夏（夏）



5 初がつお船倉肥えし帰港かな

季語：初鯉（夏）

沖縄のカツオ漁は大漁旗をはためかせ、漁に出るそうです。
（借り画像）



6 春霞 余生静かに連絡船

季語：春霞（春）

かつて荒波の海峡を何度も行き来した青函連絡船、今では
観光ルートの一つとして青森港に係留されていました。



7 何もかも積み込み待機遊山船

季語：遊山舟（夏）

ストックホルムからヘルシンキにバルト海を渡る船です。
全長200m、986室の大型船です。約400 kmを一晩かけて航行します。（東京～潮岬にほぼ相当）
船で思いつくのが現在太平洋をヨットで航海中の辛坊治郎さんの事です。5月末の時点でハワイの北を過ぎましたがその様子がネットで見られます。

[辛坊治郎さんの太平洋横断チャレンジを応援しよう! | FURUNO](#)



8 船頭の自慢の喉や風青し

季語：風青し（夏）

柳川のお堀巡りで心地良い船頭さんの唄が聞けました。



9 あおきかな海猫の先權の先

季語：海猫（夏）

カヤックの漕ぎ手の視線で詠みました。



10 船催い調整まじか初夏の風

季語：初夏（夏）

船出の準備を船催い（ふなもよい）という言葉があるようなのですが、ヨットでもこんな使い方ができるのでしょうか。



横浜ベイブリッジを背景に奔る帆を降ろした帆船 撮影：準坊

- 1 水ぬるむ池のボートをときはなす 季語：水温む（春）
- 2 初夏の川色とりどりのカヌーかな 季語：初夏（夏）
川で賑やかにカヌーのレッスンをしてました。運転中だったので写真が撮れなかったのが残念。
- 3 窓のそと船が絵となりゆく夏や 季語：ゆく夏（夏）
- 4 テムズ川軍艦、帆船並ぶ街 無季
- 5 鱧舟や釣果期待の陣を取り 季語：鱧舟（夏）
初めてキス釣りに出かけた時は思わぬ釣果が有りました。
- 6 青嵐わっさわっさと舳舟（もやいぶね） 季語：青嵐（夏）
数隻の船はちゃんと繋がれてはいるものの、揺れに大慌てのように見えました。
- 7 笹舟やうちわの風でみぎひだり 季語：笹舟、団扇（夏）
笹で包んだふ饅頭がありました。ホッチキスで止めて舟を作って浮かべてみました。
- 8 船溜 ゆるりと寄する春の波 季語：春の波（春）
- 9 舷窓に流るる旅情青岬 季語：青岬（夏）
船室の丸窓から眺める陸の遠望は旅心をそそります。
- 10 海峡フェリー白靴脱いで一寝入り 季語：白靴（夏）

この写真で一句

4月～6月兼題写真 「隅田川」 出題：準坊

投稿順

- 北切雀 **「春」百年七五で流る隅田川** 季語：春（春）
滝廉太郎の「花」は七五調の詩に西洋音階を合わせた名曲です。
- 捕われし蛇（くちなわ）のごと都市の川** 季語：蛇（夏）
都会の川は建物に押さえ込まれた大蛇のように見えます。
- 準坊 **うららかや下町分けて隅田川** 季語：うららか（夏）
川風に運ばれ届く祭囃子 季語：祭囃子（夏）
浅草三社祭の賑わいの復活を願う。
- 昼寝覚 **町並みは変われど変わらぬ春の川** 季語：春（春）
江戸の昔、明治・昭和・令和と時代が変わるにつれて隅田川の周りの景色も大きく変わってきましたのでしょね。
- 業平の問うた水鳥今どこへ** 季語：業平（夏）
言問橋はこの写真のもう少し下流（左）にあります。
- 千泉 **隅田川春のビル群江戸遠し** 季語：春（春）
いま江戸の時代小説にはまっています。
- 陽閑 **川音に負けずさえずる応援歌** 季語：囀り（春）
- 池福楼 **隅田川光るを指せば蟻の道** 季語：蟻（夏）
- マム **隅田川狂女が今も吾子探す** 無季
満潮時隅田川登る海の水 無季
- 久芽 **桜橋そぞろ歩いて鬼灯市** 季語：鬼灯市（夏）
浅草の鬼灯市もコロナ禍のため二年連続で中止に。
写真一番手前の橋は桜橋ですね。

自由俳句

陽閑 水無月は田んぼ水引満ち満ちて

季語：水無月（夏）

短歌

北切雀 生命を生みて育む星地球ひたすら航す太陽系を
我らが母船、地球。

準坊 慈雨受けて
はつはつと咲く黄色花
赤き輝き待つミニトマト
ミニトマトの苗が日に日に成長。実が付くのが
楽しみです。

**川柳**

準坊 俺知らぬ1億5千万円譲り合う
誰が1.5億円を案里に提供したか関与否定の見苦しさ。

池福楼 五輪後に御鈴（おりん）の響きあちこちに
中止から開催へ。無観客から有観客へ。観客五千人から一万人へ。無駄に重症者・死者を増やす政策。

北切雀 さざれ石どんな巖となるのやら
オリパラ観客を入れての強行。いやはや。

写真投稿

iSAMU



山法師



釣鐘草



高苺 (えご) の木

令和3年5月「石」(出題：北切雀)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 全体に今回は自作も含め散文的なのが多かったかも。俳句はしっかり映像が見えると思う句に投票しました。

写真俳句 投票数：36

一席



石段の手摺り頼りて汗拭う (8票) 久芽

季語：汗(夏)

<< 港区の愛宕山に有る愛宕神社の石段には躊躇しました。>>

- * 緑の中の赤い鳥居の綺麗な写真。階段にひいてしまう気持ちはわかります。
- * 手摺あって良かったです。
- * 江戸の昔、真垣平九郎が馬で駆け上ったと伝えられる石段ですね。
- * コロナが収束したらゆっくり神社めぐりがしたいです。長い階段への挑戦楽しみです。

佳作 (令和3年5月号掲載順)

崩れ行くローマの石に蝉の声 昼寝覚 季語：蝉(夏)

<< ローマ郊外のカラカラ浴場跡に行った時のこと、観光客もあまり見えずただ蝉の声だけが聞こえてくるようでした。>>

- * 数えきれない世代の蝉が地上に表れ、消え、さしものローマ技術さえも崩れ行くのを見ている。
- * 2000年近い時を経てもなお残る古代遺跡と、今を懸命に生きる蝉の対比がいいですね。
- * 蝉の声って夏の終わりのですよ。
- * 数千年前のローマ人の暮らしに思いを馳せる、夏の一日。



登山路のケルンに一つ石を足す 準坊 季語：ケルン(夏)

<< 山頂や登山路に石を積みあげて道標等にするケルン (cairn) で一句。>>

- * なぜか真摯な気持ちになる石を積むという行為を17音に詠みこんでいます。
- * ケルンが季語なのでですね。勉強になります。
- * 汗して登った山への証として誰しもが行動する石積みです。



石造の家に暮して若葉愛づ 一枝 季語：若葉（夏）



- * こんな石造の家に一度は住んでみたいですね。
- * 落ち着いた佇まいの家に、庭ごみ入れや堆肥作りの樽、と庭を楽しんでらっしゃるのがよくわかります。写真も石と若葉、無機有機の対比ですが。
- * 写真の構図がいいなあと思いました。それと句が合わさってやさしい雰囲気を感じ出して、石の冷たさが全くないですね。
- * 緑の中に蜂蜜色のレンガのお宅が溶け込んでいますね。
- * 陽光が燦々と輝く若葉の緑に、石造りの瀟洒な家がよい雰囲気です。

屋根石や雪を融かして夏近し iSAMU 季語：夏近し（春）



<< スイスのある地方では薄い石を重ねて屋根石としている。 >>

- * 冬は気持ちが一変する風景になるのでしょうか。夏到来へのはずむ気持ち。
- * 素晴らしいアルプスの山里の風景です。残雪が涼しげで「夏近し」ですね。

若夏の海辺の石のオブジェ積み 陽閑 季語：若夏（夏）



<< 写真はサホック州（イングランド南東）の海。沖縄の4月～5月を若夏と言う。 >>

- * 砂浜の海岸しか知らなかったで、イギリスの砂利海岸には少し驚きました。
- * 琉球語の季語を知り、一つ勉強になりました。何か活力のある言葉です。
- * きれいに積みましたね。「若夏」に澆漉とした光あふれる夏をイメージしました。
- * 積んでみたい石が沢山あるんですね。

河川敷ひとりキャンプで石の椅子 梵木 季語：キャンプ（夏）



- * コロナ状況を逆手にとって、独り自然とじっくり触れ合う夏。
- * 子供達が小さい頃、河川敷でキャンプしたことを思い出しました。
- * 素敵な写真で惹きつけられます。ひとりキャンプ羨ましい～。誰かと行くとなくなにかと荷物も増えそうですが、困難のコロナ禍でも逆境を転換してエネルギーにできると言っているようにも感じます。
- * コロナ禍と合間ってソロキャンプが大流行。今は不便な生活が逆に贅沢なのでしょう。

何願う花散る中に百度石 千泉 季語：花散る（落花の子季語で春）

<< よく行く神社にあったのですが今月の兼題がなければ気付きませんでした。 >>



- * この石の周りを百回廻るのでしょうか。
注：境内の一定距離を100回往復しその度に拝する標識です。
- * すっかり忘れていました！ 写真を見て子供の頃、近くの神社にあったのを思い出し、ついでに「お百度を踏む」という言葉も思い出しました。
- * 百度石よく気づきましたね！ アラアラって言う感じ。
- * 人のためを思っの願い事は叶えやすいとか。この百度石はそんな数多の願いを聞いて来たのでしょうか。
- * お百度詣りは江戸時代からでしょうか？ この石の謂れを知りたいものです。まさに兼題にぴったりの1枚ですね。



石像の輝りて若葉影浄 (きよ) し 池福楼 季語：若葉 (夏)

<< 日本の女医第一号、荻野吟子の石像です。明治維新を切り開いた偉人の一人。>>

- * 「カッター」というのでしょうか。先人の努力、苦勞にどれだけお世話になっているのか若い人ばかりでなく、自分も感謝が足りないと思います。
- * 閉ざされていた女性の道を切り開いた荻野吟子の挑戦が「若葉影浄し」に現れているようで味わい深いです。
- * 手にしているものが帽子ではなく、本や医療器具の方が...と思ってしまいました。緑の背景に生える像です。



骸 (むくろ) なる石壁包む青葉闇 北切雀 季語：青葉闇 (夏)

<< 森の中の荒城です。>>

- * 深閑とした古城の歴史に思いを馳せます。
- * このお城どこかで見たような、すごく気になる荒城。映画？旅行で？何か懐かしい。「骸」にはなぜか心惹かれます。
- * この季語は夏木立の茂った様ですが、この闇のような石壁の荒廃は「青葉闇」と言えて妙です。
- * 骸という言葉 只者ではない…青葉闇で静かさも…良いですね～。

俳句



小石アート

村の子供たちの作品です。少し色褪せました (北切雀)。

一席 投票数：32

緑陰に居眠りのごと石地藏 久芽 (10 票)

季語：緑陰 (夏)

<< 青葉茂る木陰にひっそりとお地藏さんが眠って？いました。>>

- * 孫の昼寝に自分が先に寝てしまうババ同様、お地藏様も緑陰の心地よさについて、でしょうか。
- * 眠っているような顔のお地藏さんには癒されますね。
- * 「居眠りのごと」の表現が気に入った。
- * 木陰での居眠り、さぞ気持ちよいものでしょうね。
- * 暑さ寒さをものともせず見守ってくれているお地藏様、つかの間の休息でしょうか、優しい顔が浮かびます。
- * お地藏さんの顔は穏やかで、まるで眠っているようですね。
- * 長野にしばらく行ってないのですが、そういった散歩道が沢山あります。早くゆっくり散歩したいなあ～
- * 静寂の音 (?) に満たされた空間に感じます。
- * 地藏さんの顔は自身の鏡です。

1 石投げて波紋に慌てしあめんぼ 準坊

季語：あめんぼ（夏）

<< あめんぼには可哀想な事をしました。 >>

- * 小さな命への愛情を感じる。
- * 何気ない光景が浮かび面白い。
- * あめんぼは水の波紋も何のそので、スイスイ泳いでいそうです。
- * 静かな池（湖）のほとり、一石を投じて景色が静から動に変わる情景が伝わります。
- * 小さな生き物に心優しき酔人ですね。

2 砂利道を裸足で駆ける子供の日 池福楼

季語：裸足（夏）

- * 痛さも熱さも遊びに夢中で忘れる。そんな日がありましたね。
- * どんな状況でも遊びに変えられる子供のたくましさ、柔軟な発想力が弾けてくるような力強さがいいですね。

3 風炎（ふうえん）やバラバラと石飛礫（いしつぶて）降る 一枝

季語：風炎（春）

- * 風炎は「フェーン」の見事な当て字。なにか不安を掻き立てるこんな雰囲気も俳句にしてしまう力量に感心。例句が少ない句ではないでしょうか。
- * 風炎がドイツ語のフェーン現象をもじった言葉とは知りませんでした。

4 息あがる石段ごとに風薫る 陽閑

季語：風薫る（夏）

- * 石段は息があがるので登りたくないのですが風は気持ちが悪くなりますね。
- * 息を切らせる山寺の参道を、心地よい風に癒されながら一段づつ上がっていく様子。
- * もう少しです頑張りましょう。
- * 石段のてっぺんには五月の真っ青な空が広がっている。

6 あせばむも石けりつづくけんけんば 千泉

季語：汗ばむ（汗の子季語で夏）

<< イギリスでもロックダウン中道路にチョークでたくさん描かれてました。 >>

- * 汗をかいてることも気づかず、遊びに没頭している子供の様子が下五のリズムで生き生き。
- * 昔の子供の遊びも見直されています。

7 暑き日に並んで読経石仏 昼寝覚

季語：暑き日（夏）

- * 炎天下静かに経を唱える仏様が目に浮かびます。
- * 居並ぶ石仏がそれぞれ個性を出しながら、調和している様が面白い。
- * ユーモアを感じる句。

8 草野球石ころ多いグラウンドで 梵木

無季

- * 昔は整備されたグラウンドなどまれでしたね。
- * 転ぶと痛そうですが楽しいでしょうね。野球好きの正岡子規はなんというのでしょうか。

註：「野球」という言葉を創ったのは正岡子規（1867～1902）で、彼の野球用語の和訳は現在も使われている。

- 子規野球三句
 - ・春風やまりを投げたき草の原
 - ・草茂みベースボールの道白し
 - ・生垣の外は枯野や球遊び

9 孫が継ぐ女四代ルビー炎（も）ゆ マム

季語：炎ゆ（夏）

<< 大した宝石ではありませんが、頑張って生きてきた血縁の繋がりです。 >>

- * ルビーの赤はまさに血を連想させます。これからも延々脈々と繋がっていきますよう。
- * 何かドラマを見るよう。代々受け継いだ宝石はただの石ではありません。素晴らしい家族の絆のバトン。
- * こういう石も有りですね。

10 つつつつ水切る石と半ズボン 北切雀

季語：半ズボン（夏）

<< 「ズボン」だと水に沈む感じがするのでひらがなにしました（笑）。並列の効果は？>>

- * 擬音が新鮮な句です。子供の嬉々として遊ぶ姿をよく捉えています。
- * 水切り石の表現とても良いと思いました。
- * 音を感じます。
- * 自分も川で石投げをよくやりました。表現が流石で好きです。
- * 小さいころよく水きりで遊びました。翌日腕が痛くなったりして。ちょっとひと言、「と」が気になりました。なくてもよいか？ その場合「水を切る石」となりますか。

作者：なんだか声に出してみましたが、ご指摘の「水を切る石」の方がすっきりとしイメージが鮮明になります。ありがとうございました。

自由俳句

陽閑

蛙飛び長靴カエル雨あがり



蛙飛び長靴カエル雨あがり

天気予報幼な傘には雨蛙



天気予報幼な傘には雨蛙

借画像

借画像

- * すごく楽しい写俳です。そのままメロディーをつければ童謡になりますね。

短歌

準坊

公園を二日をかけてぐるぐると無観客虚し聖火リレー

<< 変異種コロナが蔓延中になぜ？ >>

- * 川柳のような皮肉のきいた短歌ですね。私も聖火リレーで一句「聖火リレー辞退のリレーも繋がって」（池福楼）。

写真投稿

iSAMU

牡丹



白牡丹といふといへども紅ほのか 高浜虚子

卵ノ花



おしあふて又卵の花の咲きこぼれ 正岡子規

昼寝覚

五百羅漢 埼玉県川越喜多院



羅漢とて噂話をひとしきり 昼寝覚

- * 喜多院の五百羅漢みな表情豊かで「アアこういう人いるいる、これは私に似ているな」など見ていて飽きないですね。
- * 五百羅漢は懐かしいです。体を大きく傾げるほどの噂とは？こちらも聞きたい。

- * 文月7月の兼題は千泉さん「山」、8月は久芽さんから「帽子」、9月は昼寝覚さんから「野分または嵐」と出ています。
 - * 令和3年水無月6月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
 - * また特にいいと思われた写俳、俳句各1作品に持ち票2票ずつを投票されても結構です。
 - * 句とは別に写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね！」として投票下さい。
 - * 作者名が入った作品は投票対象外です。
 - * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。写真、短歌、川柳、自由俳句も大歓迎です。
 - * 6月号への投票、7月号作品への投句、投稿の締め切りはともに7月20日です。
 - * 読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。
- * 今年から「この写真で一句」という3ヵ月毎の部門を始めました。兼題は言葉ではなく写真です。
1. 兼題写真から自由に発想して「俳句」を詠んで下さい。
 2. 川柳、短歌と同様に投稿は自由です。
 3. 作品は記名で投票の対象外となります。
 4. 7月～9月の兼題写真は久芽さんの「道標」で、締め切りは9月20日です。
 5. 10月～12月の兼題写真を募集しています。



道標

撮影：久芽

写楽句会 連絡先： kinuko_thompson@hotmail.com
 写楽句会： <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
 四季の森空間： <https://isamusouma.web.fc2.com/>